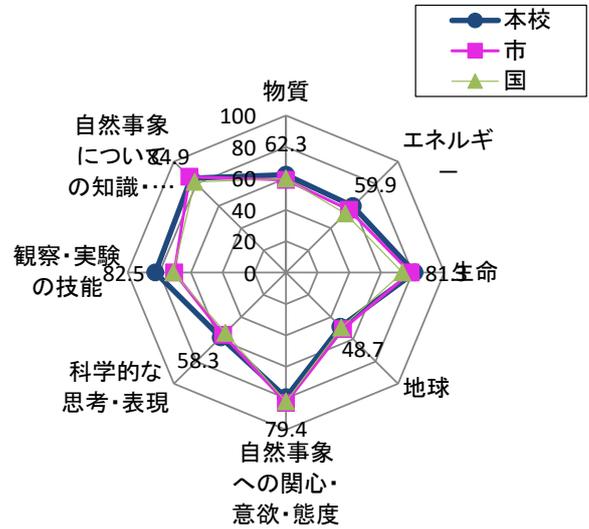


# 宇都宮市立横川中央小学校第6学年【理科】分類・区別正答率

## ★本年度の国、市と本校の状況

### 【理科】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	物質	62.3	59.0	59.8
	エネルギー	59.9	56.4	53.1
	生命	81.3	78.6	73.6
	地球	48.7	50.9	49.5
観点	自然事象への関心・意欲・態度	79.4	82.9	82.1
	科学的な思考・表現	58.3	56.1	54.1
	観察・実験の技能	82.5	70.6	71.1
	自然事象についての知識・理解	84.9	86.2	81.5



### ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質	○平均正答率は62.3%で、全国平均より2.5ポイント高い。	・食塩を水に溶かしても、水と食塩を合わせた重さ(食塩水の重さ)は変わらないことについて、普段の授業の中で予想させたり実験して検証したりする活動を行うことで、理解を深めることができるようにする。 ・幾つかある情報の中から、実験結果から言えることだけに言及した内容のみに改善して、その内容を記述したり相手に説明したりするような学習指導を積極的に行うようにする。
エネルギー	○平均正答率は59.9%で、全国平均より6.8ポイント高い。	・正答率は全国平均より高かったが、引き続き、日常生活に見られるエネルギーの利用(電流の向きと大きさ、太陽の1日の位置の変化と光電池)について、実験や観察、物作り等を通して、児童が興味や関心をもって追究できるような活動を積極的に入れることで、エネルギーに対する見方や考え方、知識理解の充実を図ることができるようにする。
生命	○平均正答率は81.3%で、全国平均より7.7ポイント高い。	・正答率は全国平均より高かったが、野外での観察においては安全に留意する態度や生物を愛護する態度を育成するため、どの児童にも考えさせる場や観察の場を積極的に取り入れるようにすることで、着実な定着を図ることができるようにする。
地球	●平均正答率は48.7%で、全国平均より0.8ポイント低い。	・土地の浸食について経験を生かし実験方法を考え実験し、得られた結果から考察し、話し合う場を設定する。 ・児童一人一人が興味・関心をもって追究する活動を積極的に取り入れることで、地球に対する見方や考え方、知識理解のさらなる充実を図ることができるようにする。